

町田良夫 サウンド&ビジュアル・アーティスト

www.yoshiomachida.com

1985-89 多摩美術大学
1967 埼玉県生まれ



町田良夫 (まちだよしお)

音楽家、スチールパン奏者／美術家、ASCAP 会員。多摩美術大学在学中、秋山邦晴、東野芳明、萩原朔美、菅木志雄に師事、ミニマルアート／音楽／映像を総合的に学びました。

これまで、日本、ヨーロッパ各国のメディア・アート／音楽祭 (ISEA2004, Sonar Tokyo, Europhonic ジャズ音楽祭、Maerz Musik フェスティバル等) に出演、David Toop 著書「Haunted Weather」で紹介され、自身のソロアルバムに加え、大友良英、Sachiko M、Merzbow 等日本のアヴァンギャルドな音楽家と共に数枚のコンピレーション・アルバムで紹介されてきました。2005 年、楽曲「アフターイメージ」(CD: Hypernatural #2) は、フランスの TVCM 曲になりました。2008 年には、ダニ・カラヴァン展 (世田谷美術館) で彼の作品とともに演奏しました。また 2009 年には、ヴァン・クリーフ & アーペルの初の大回顧展 (森アーツセンターギャラリー) の音響デザイン／音楽を担当しました。

90 年代、中国、東南アジア、アフリカ各国で国際協力の仕事に従事、様々な現地の民族音楽／アートと出会い、この体験からアジアの太陽信仰文化に触発され、民俗学的な視点から光の象徴である銅鑼 (ゴング) をフィーチャーした音響コラージュ・フィールド・レコーディング作品「ハイパーナチュラル・シリーズ」(CD) を、同時に美術では光と記憶をテーマに意味を持つ素材を組み合わせたコラージュ作品を発表。また、"よりライブで記録された音楽" という観点から、ブライアン・イーノが採用した初期の Generative Music (ジェネレイティブ・ミュージック) ソフトウェア「KOAN」を使用したデータによる音楽作品も発表。更に、ライブ・パフォーマンスへの興味からゴングをさらに発展させたメタルパーカッションとも言えるスチールパンによる即興演奏で独自の音楽を追究、実験音楽、現代音楽、民族音楽などのジャンルをまたがるアルバムをリリース。平行して、コラージュ作品の部品であった印画紙のみを使用した独自の絵画、「PHOTOBATIK」(フォトバティック) を制作、国内外で展覧会を開いています。バンドとして、Walk With The Penguin (セルビアのバンド、チンチとのコラボバンド) や、miimo (レピッシュ、Ganga Zumba の tatsu (bass)、plot. こと佐治宣英 (drum) と町田良夫の 3 人から成るポスト DUB・バンド)、オハナミ (ドラマー、山本達久とのユニット) を結成。朝崎郁恵 (奄美民謡)、ヨシダダイキチ (シタール奏者)、山本精一らとも共演しています。

音楽レーベル／現代美術・音楽イベントを企画する、AMORFON (アモルフォン) を自ら主宰、あまり紹介されていない東欧を含む国内外のユニークな音楽をリリース、これまで交流が無かった日本とマケドニアの現代美術作家による初の交流展を企画、展覧会／コンサート／ワークショップ等を日本、マケドニアの両国で行いました。アモルフォンのリリースの中で、町田が音楽の問題提起として企画した CD「キングダムジーク: 赤ちゃんの即興音楽」は、5 カ国／10 人の赤ちゃんの即興演奏のみを集めた CD で、世界初の試みです。また、音楽誌への寄稿、レクチャー、自身の活動を応用したユニークな子供向けのワークショップ等、活動は多岐に渡ります。

「研ぎ澄まされた音の流れに目が覚める」 (ミュージック・マガジン 2009 年 6 月号)

「スチールパンの新しい旅」 細野晴臣 (ソトコト 2006 年 7 月号)

「ドリーミーな傑作」 松山晋也 (CD ジャーナル 2006 年 7 月号)

「スチール・パンからここまで多彩な表情を引き出すことができるのかと驚愕」 (Studio Voice 2004 年 2 月号)

「近年にわかに注目を集めつつある音楽家」 梅津元 (BT 美術手帖 2002 年 6 月号)

「"現実" と虚像の間の美しい関係」 The Wire (英国音楽誌 2008 年)

「光と反射・・・浄化と瞑想の時」 Brainwashed (米国音楽誌 2006 年)

■展覧会

2008

* "パーク展 - アジアの現代美術作家 2008-", BankART Mini Gallery (横浜)

2006

* オーバーハウゼン短編映画祭委託作品 DVD "Loop Pool Ping Pong" へ映像参加

* "脳天気 / Weather in My Brain 展" 映像&音楽参加 (台北, 台中/台湾)

2005

* 第一回国際アーティスト・フラッグ展 参加 (ノヴィ・サド/セルビア)

* グループ展, Appel, 東京

2004

* 日本マケドニア現代アート交流展, "Collaboration", BankART1929 (横浜)

* 日本マケドニア現代アート交流展, "Collaboration" (ビトラ&スコピエ/マケドニア)

* ISEA2004 参加 (フィンランド)

* "Ecoute (Listen)" 展参加, ポンピドゥーセンター (パリ/フランス)

2003

* "Dark Symphony" 展参加, アルス・エレクトロニカ, (リンツ/オーストリア)

* 町田良夫 + Vladislav Dobrovolski 展, MUHA (モスクワ/ロシア)

* site-specific installation, ヘラクレア遺跡 (ビトラ/マケドニア)

2002

* 個展, "Photobatik", Pepper's Loft Gallery (東京)

* 個展, Izba (ノヴィ・サド/ユーゴスラビア)

2000

* 個展, "Recent Works", Adan (東京)

* グループ展, A3 Gallery (モスクワ/ロシア)

* Sonic Boom 展参加 (David Toop のインスタレーション), The Hayward Gallery (ロンドン/UK)

1999

* 個展, "Amorphous", Gallery Ono 2 (東京)

* 個展, "Resonant Radiance", Gallery B-One (東京)

1998

* グループ展, Twin 21 Gallery, 大阪 Business Park (大阪)

* グループ展, Lobby Gallery, 東京国際フォーラム (東京)

1991

* グループ展, 世田谷区民ギャラリー (東京)

1988

* グループ展, 新宿 Lumine 2, (東京)

* 個展, Method 高井戸 Club (Art SOKO), (東京)

1986

* グループ展, 多摩美術大学 (東京)

■レクチャー/ワークショップ

2009

* 子どもワークショップ @ ルピシア (東京)

2006

* レクチャー @ Polytechnic アカデミー (ベオグラード, セルビア)

* プレゼンテーション @ REX (ベオグラード, セルビア)

* ワークショップ @ Sava Zebeljan 小学校 (ツレパヤ/セルビア)

2005

- * 小学生のためのワークショップ@南砂小学校、にしすがも創造舎 / ASIAS (東京)
- * ワークショップ @ にしすがも創造舎 (東京)

2004

- * レクチャー @ 大学セミナーハウス (多摩美術大学デザイン学科) (東京)
- * ワークショップ @ Sava Zebeljan 小学校 (ツレパヤ/セルビア)

2002

- * レクチャー @ "SONAR in Tokyo", 六本木ヒルズ Information Center (東京)
- * ワークショップ @ Art Klub (ノヴィ・サド/ユーゴスラビア)

■コンサート

2010

- 7th Floor (as miimo) (東京)
- 青山ブックセンター本店 (as miimo) (東京)
- リキッドルーム (as miimo) (東京)
- スーパーデラックス (東京)
- O-nest (as miimo) (東京)
- フェスティバル「Sense of Wonder」(as miimo) (茨城)

2009

- Pink Noise (as miimo) (東京)
- Grapefruits Moon (東京)
- 茶箱 (東京)
- Kong Tong (as miimo) (東京)
- 青山ブックセンター (as miimo) (東京)
- KD Japon (as miimo) (名古屋)
- 鰻谷 Sansui (as miimo) (大阪)
- 440 (as miimo) (東京)
- Asagaya Loft A (東京)
- Lalaport 豊洲 (東京)
- Club Goodman (東京)
- Nadiff A/P/A/R/T (東京)
- 7th Floor (as miimo) (東京)
- 松光山 西林寺 (朝崎郁恵サポート) (福岡)
- Kobe Zink (神戸)
- 朴 (彦根)
- ファブリカ村 (近江)
- トランクルーム (京都)
- 加奈泥庵 (大阪)

2008

- 「円盤ジャンボリー」 O-nest (東京)
- w-jaz (東京)
- 月見ル君想フ (as miimo) (東京)
- Metro (朝崎郁恵サポート) (京都)
- O-nest (東京)
- Flying Teapot (東京)
- アムリタ食堂 (朝崎郁恵サポート) (東京)
- Velvet Sun (東京)
- O-nest(pasadena サポート) (東京)
- Warter(柏)
- Club lkspiari (as miimo) (舞浜)
- Show Boat(Neohachi サポート) (東京)
- 青山ブックセンター六本木 (as miimo) (東京)
- マドラウンジ (as miimo) (東京)
- アンデパンダン (as miimo) (京都)
- KD Japon (as miimo) (名古屋)
- puddle (as miimo) (金沢)

村門 (as miimo) (富山)
festival 「FOR 座 REST 2008」 広瀬座 (朝崎郁恵サポート)(福島)
festival 「ホープ県」 Shangri-La(大阪)
festival 「ホープ県」 Shangri-La(大阪)
Basement Bar(東京)
世田谷美術館 (東京)
Club Goodman(東京)
Flying Teapot (東京)

2007

Loop-line (東京)
悠久庵 (東京)
円盤 (東京)
Uplink (with Sitar Tar!) (東京)
Bullet's (with aen) (東京)
Flying Teapot (東京)
Salon by Marbletron (東京)
Kong Tong (as Miimo) (東京)
ParaGLOBE (with aen) (東京)
青山ブックセンター六本木 (東京)
青山ブックセンター自由が丘 (東京)
Super Deluxe (as Miimo) (東京)
440 (hacca のサポート)(東京)
円盤 (東京)
青山峰 (as miimo)(東京)
フェスティバル 「Sense of Wonder」 (朝崎郁恵サポート)(山梨)
「art-link 上野 - 谷中 2007」 Scai The Bathhouse (東京)
440 (as miimo) (東京)
Manda-La2 (コクシネルのサポート)(東京)
O-nest (as miimo)(東京)
Kong Tong (as miimo)(東京)
Uplink(東京)

2006

Art Clinika (ノヴィ・サド／セルビア)
Rex (ベオグラード／セルビア)
Niski Simfonijski Orkestar (ニシュ／セルビア)
MaerzMusik 現代音楽祭 (ベルリン／ドイツ)
青山ブックセンター六本木 (東京)
ICC(東京)
HMV 渋谷店 (東京)
円盤 (東京)
青山ブックセンター表参道 (東京)
アップルストア渋谷 (東京)
青山ブックセンター六本木 (東京)
Appel(東京)
Super Deluxe(東京)
andZONE(東京)

2005

Salon by Marbletron (東京)
Combine (東京)
Metro (京都)
Appel (東京)
cafe santa (日吉)
Hun Lahun (東京)
Loop-line (東京)
青山ブックセンター (東京)

2004

BankART1929 (横浜)
Cafe Independent (京都)
Canolfan (名古屋)

Loop-line (東京)
大学セミナー・ハウス (東京)
多摩川河川敷 (東京)
"ISEA2004" Slija Ferry (フィンランド)
Grapefruit Moon (東京)
OT301 (アムステルダム/オランダ)
Zakk (ブレーメン/ドイツ)
studio14 paradis (パリ/フランス)
Izba (ノヴィ・サド/セルビア)
Sava Zebejan 小学校 (ツレパヤ/セルビア)
Rex (ベオグラード/セルビア)
The Botanical Garden (ベオグラード/セルビア)
Tocka (スコピエ/マケドニア)
The Mosque Gallery (ビトラ/マケドニア)
Rhiz (ウィーン/オーストリア)
Salon by Marbletron (東京)
TokyoFM, Radio session (東京)

2003

Independent (京都)
S4 (名古屋)
Val (東京)
Muha (モスクワ/ロシア)
The city center (サンクト・ペテルブルグ/ロシア)
JFC (サンクト・ペテルブルグ/ロシア)
Fridbergkrasts (ラトビア)
ausland (ベルリン/ドイツ)
Astra-stube (ハンブルグ/ドイツ)
Zaal100 (アムステルダム/オランダ)
Nebo Boat (アントワープ/ベルギー)
Project100 (パリ/フランス)
Ferm du Biereau (ルーヴァン・ラ・ヌーヴ/ベルギー)
Kulturbunker Muelheim (ケルン/ドイツ)
galerie rachel haferkamp (ケルン/ドイツ)
MeX (ドルトムント/ドイツ)
"Europhonic Jazz Festival" Domicil (ドルトムント/ドイツ)
Cuba (ミュンスター/ドイツ)
"Ring Ring Festival" National Library (ベオグラード/セルビア)
Izba (ノヴィ・サド/セルビア)
Mesto (スコピエ/マケドニア)
The City Gallery (ビトラ/マケドニア)
Lewisham Arthouse (ロンドン/UK)
Hat on Wall (ロンドン/UK)
Canolfan (名古屋)
Sputnik Pad (東京)

2002

super deluxe (東京)
"SONAR in Tokyo", 六本木ヒルズ Information Center (東京)
OFF SITE (東京)
金沢市民芸術村 (金沢)
Canolfan (名古屋)
Futuro (大阪)
Cafe Independent (京都)
Pepper's Loft Gallery (東京)
Extrapool (ナイメーゲン/オランダ)
Gallery Schneiderei (ケルン/ドイツ)
Cuba (ミュンスター/ドイツ)
CKZD Pavillion Veljkovic (ベオグラード/ユーゴスラビア)
Art Klub (ノヴィ・サド/ユーゴスラビア)

2001

CAY (東京)

■ Grants

2008

- パーク展 - アジアの現代美術作家 2008-, 芸術文化振興基金 (深沢アート研究所と共に)

2004

- ISEA2004, ASIA-EUROPE Foundation
- 日本マケドニア現代アート交流展, 財団法人ポーラ美術振興財団
- 日本マケドニア現代アート交流展, 日商岩井国際交流財団

2003

- 国際シンポジウム展覧会「IF」, 野村国際文化財団

■ 出版

2010

CD : miimo "miimo 3", 自主出版
CD : オハナミ "Ohanami", Nature Bliss, 日本

2009

CD : " スティールパン・インプロヴィゼーション ", 自主出版
CD : miimo "miimo 2", 自主出版
CD : V.A. "Wire Tapper #22", The Wire, イギリス
CD : V.A. miimo "Starz File Vol.3", Avex, 日本
CD : V.A. "Test Tone Anthology", 目玉レコード, 日本

2008

CD : "Hypernatural #3", Baskaru, フランス

2007

CDR : "Read A Book With Steel Pan", absurd/eclipsis, ギリシャ
CD+DVD : V.A. "SILENT ROOM FAKTORY BOX 01 | skoltz_kolgen", SK Factory, カナダ
CD : V.A. "Yasujiro Ozu - Hitokomakura", and/OAR, アメリカ
CDR : miimo "miimo", 自主出版
CD : Walk With The Penguin "君のためにスプーンを盗む", amorfon, 日本
CD : V.A. "Resonance: Steel Pan in the 21st Century", Quiet Design, アメリカ

2006

CD : V.A. "water music", Commune Disc, 日本
CD : "Naada", amorfon, 日本

2004

CD : "Infinite Flowers" amorfon, 日本
ノート : コクヨ, "An" シリーズ, KOKUYO, 日本
CD : V.A. "seeds of dub", mao, 日本
CD : V.A. "*Music for Baby!", amorfon, 日本

2003

CD : V.A. "lib.", cubicfabric, 日本
CD : V.A. "Kraakgeluiden", unsounds, オランダ

2002

CD : V.A. "Japanese Avant Garde", sub rosa, ベルギー
CD : V.A. Improvised Music from Japan, 日本

2001

CD : "HYPERNATURAL #2", softl music, ドイツ

1999

CD : "HYPERNATURAL", 自主出版
FD : "AMORPHOUS" (Koan Pieces with Koan software by SSEYO Ltd.), 自主出版

■寄稿

- 雑誌記事「ホフェッシュ・シェクター・インタビュー」(intoxicate web Apr. 2010 日本)
- 雑誌記事「ジム・オルーク・インタビュー」(intoxicate vol.82 Sep. 2009 日本)
- 雑誌記事「Exotic Grammer: Jegog と Pianorquestra」(intoxicate vol.55 Apr. 2009 日本)
- 雑誌記事「日本のコンピューター・ミュージックについて」(Page 66 2007/2008 イギリス)
- 雑誌記事「アモルフォンについて」(Improvised Music from Japan Dec. 2005 日本)
- CD レビュー「MINAMO/SHINING」(intoxicate vol.55 Apr. 2005 日本)
- 映画レビュー「EMILY YOUNG/KISS OF LIFE」(intoxicate vol.53 Dec. 2004 日本)
- 雑誌記事「Global Ear: Skopje+Bitola」(THE WIRE issue246 Aug. 2004 イギリス)
- 雑誌記事「最近のこと」(musee vol.49 May. 2004 日本)
- 雑誌記事「Amorphone とヨーロッパツアー」(Improvised Music from Japan IMJ-301 2002 日本)
- CD レビュー「THE BOOKS / Thought For Food」(musee vol.38 Jul. 2002 日本)
- 雑誌記事「お気に入りのレコード」(スタジオボイス vol.312 Dec, 2001 日本)
- 雑誌記事「Tomlab, bmblab, softl music」(musee vol.32 Jul. 2001 日本)
- 雑誌記事「Joel Ryan」(musee vol.29 Jan. 2001 日本)
- 雑誌記事「なかから光っている木」(musee vol.25 May. 2000 日本)

■他の活動

2008

- 現代美術展、"パーク展 - アジアの現代美術作家 2008-" を深沢アート研究所と共同企画

2005

- ドイツ年／音響と映像のイベント、"Sound & Image" の企画運営 (東京)
- 関根伸夫展／展示映像制作@埼玉県立近代美術館 (埼玉)
- フランス TV コマーシャル "www.visual.fr" の楽曲提供

2004

- 日本マケドニア現代アート交流展の企画運営 (マケドニア／日本)
- Skart レクチャー企画 with A.I.T. (東京)

2003

- 音楽レーベル、Amorfon (アモルフォン) 設立